

Staple

SOIL Akiya

秋谷老人福祉センター跡地の利活用について



Staple Inc./ (株) Staple

Contact: 企画開発 担当窓口 谷野
natsuha@staplejp.com

Staple

風を起こし、土を育て、
豊かな風土を未来につなぎなおす。

創業 2018年11月5日
資本金 94,730,000円（資本準備金含む）
連結売上 12億円（2024年期）
従業員数 130名（子会社・関連会社含む）

Soft Developer

不動産デベロッパー
Real Estate Developer



設計・デザイン事務所
Design Firm



ホテル運営会社
Hotel Operator

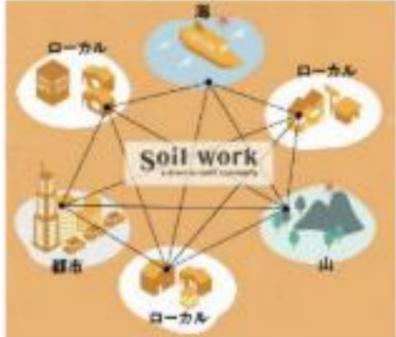


まちづくり会社
Neighborhood Planner

人口減少下でも繁栄する
徒歩圏内の「ご近所」
Regenerative Neighborhood



Stapleの地域開発アプローチ



各地域にコワーキングスペース/
コミュニティ Soil workを生成。
副業人材やリモート人材を関係
人口として取り込む

地域の変化が目に見える
距離感に集中することで、
コトがx起きる可能性を
上げる



5. 地域間につながる

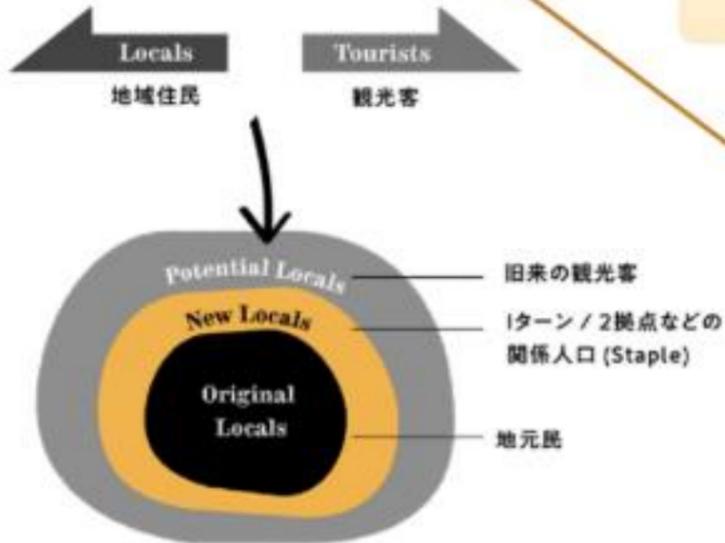
1. 徒歩圏内の「ご近所」

4. ご近所内にSOIL拡張

2. ホテルをつくる

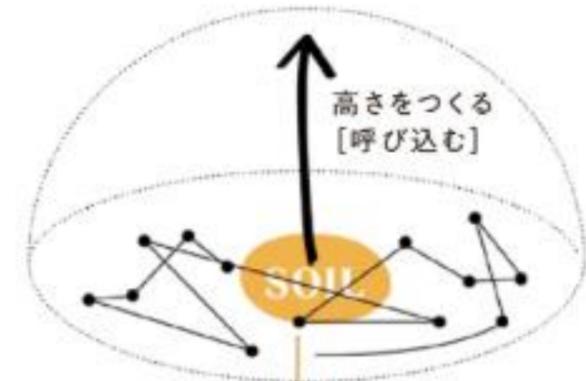
3. SOILをつくる

世界中から観光客・
訪問客を増やす



旧来対立しがちな2層を再解釈。Stapleが地域で生活者
となって新たに3層が協働していく未来をつくる

ファンや移住者を増やし、
地域民との交流を促す



交わりをつくる
[友達になる・一緒に仕事をする]

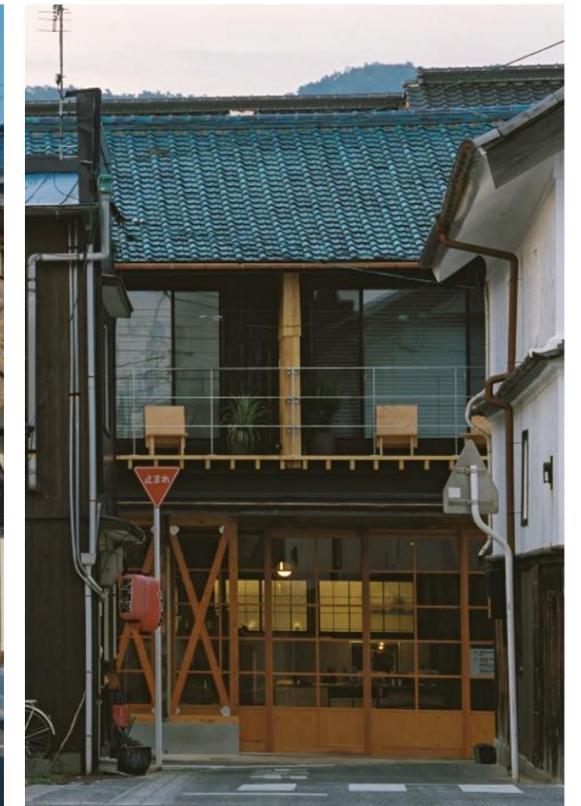
瀬戸田プロジェクト

- SOIL Setoda -

基本情報

住所	広島県尾道市瀬戸田町瀬戸田254-2
オープン	2021年4月から順次
用途	ホテル16部屋 / 飲食など
構造	木造 / 新築+リノベーション
延床面積	700㎡
階数	2階建

- 瀬戸内海をつなぐしまなみ海道の中継島でもある生口島、瀬戸田の港の玄関口に位置するホテルを中心としたローカル複合施設。宿泊、レストラン、総菜屋、ロースター、ワークプレイスの機能が徒歩圏内に散りばめられる。地元の人と共生する新しい地域作りをこの数年行っており、瀬戸内だけでなく国内外から注目されているエリアとなっている。
- 3年間のワークショップと3年間の開発期間を通じて段階的に拡張を続け、Stapleの目指す徒歩20分圏内での連続的な開発を実践。

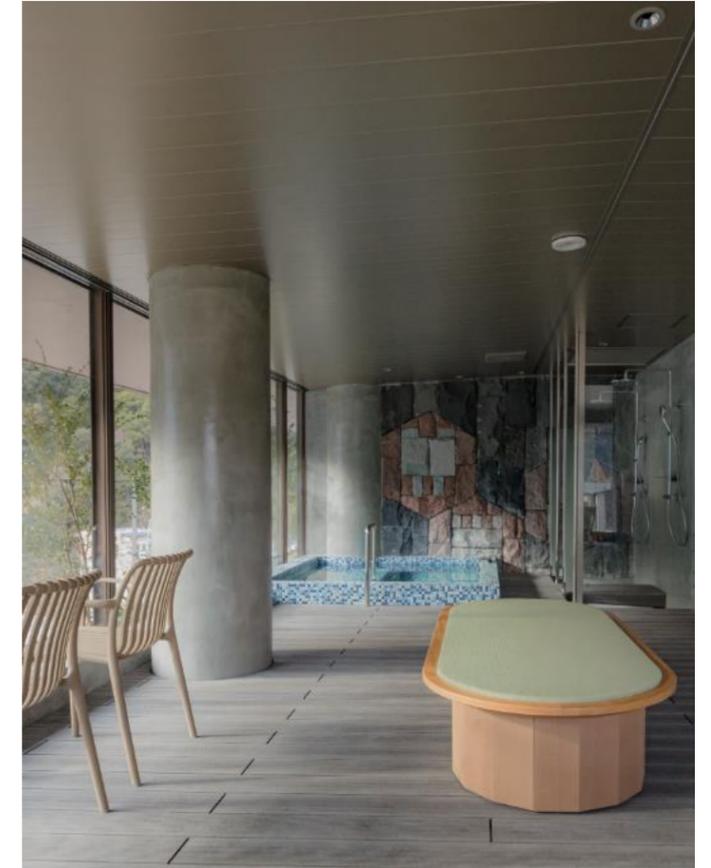


長門湯本プロジェクト

- SOIL Nagatoyumoto -

基本情報

住所	山口県長門市深川湯本2257
オープン	2025年3月
用途	ホテル24部屋 / 1Fレストラン / 6Fサウナ
構造	RC / リノベーション
延床面積	2000㎡
階数	6階建



- 600年の歴史のある町の立ち寄り湯「恩湯」で日々感謝する心が湧き、入浴文化を通して前向きな精神をもつ方々が住んでいるこの町で、SOIL Nagatoyumotoはまちに開き、地域の歴史・文化・自然を体験し、湯のある暮らしの豊かさを感じることのできる場所を目指す。
- 長門湯本のまちや自然環境、地域の人々とともに交流する機会をつくるように設計された“温泉街とつながる宿”。



地域活動の事例

マラソン大会



毎年2月に瀬戸田で開催される「レモンマラソン」。
2025年大会は1350名のランナーが参加し、今では冬の瀬戸田の景色に。

映画祭



4つの島で3日間にわたり同時に開催されたしまなみ映画祭。
映画だけではなく、音楽や色も楽しめるフェスのようなイベント。

LITTLE LOCAL MARKET w/ Papersky



Stapleがローカルガイドとして共同製作したPapersky「しまなみ」特集を記念して開催されたPapersky × Agnes b. × Stapleのコラボマルシェイベント。

Soil work FES

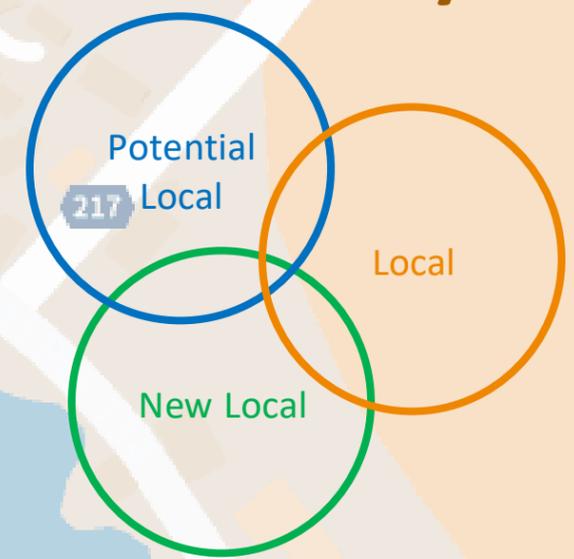


2024年10月にSoil work in Akiya Villageにて、開催されたSoil work FES。
北は北海道、南は広島まで日本全国の会員が秋谷へ集合したイベント。

Soil work



SOIL Akiya



Local | ローカル

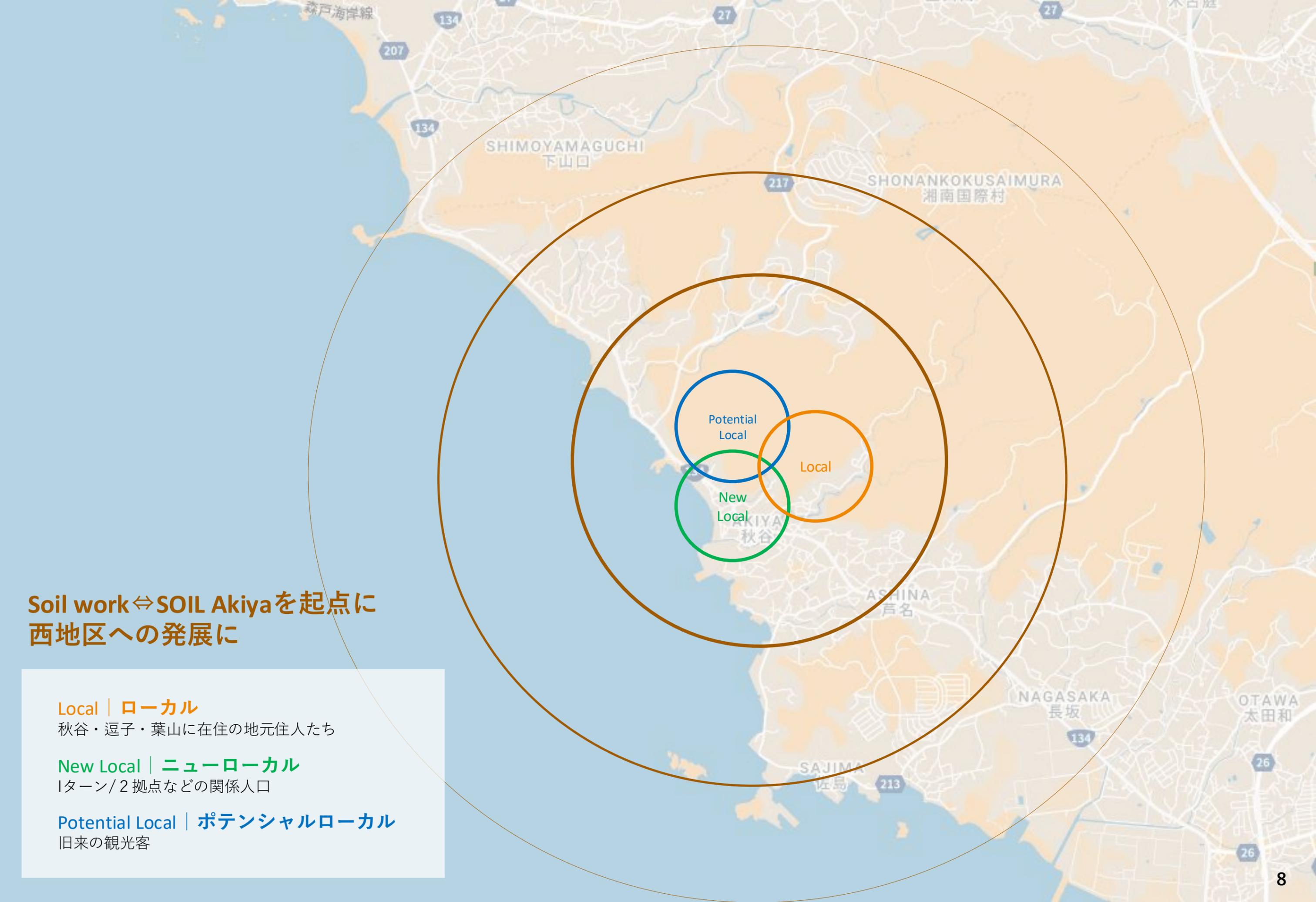
秋谷・逗子・葉山に在住の地元住人たち

New Local | ニューローカル

1ターン/2拠点などの関係人口

Potential Local | ポテンシャルローカル

旧来の観光客



Soil work ⇄ SOIL Akiyaを起点に 西地区への発展に

Local | ローカル

秋谷・逗子・葉山に在住の地元住人たち

New Local | ニューローカル

1ターン/2拠点などの関係人口

Potential Local | ポテンシャルローカル

旧来の観光客

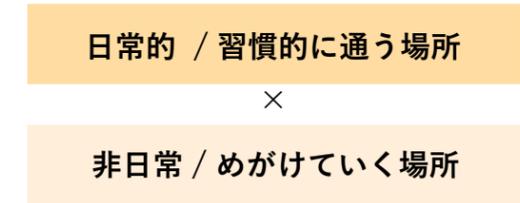
SOIL Akiya

0 — 100歳

が楽しむ秋谷の景色を次の時代へ繋いでいく



施設構成



をもたせることで
ローカルとニューローカルの往来
が生まれ、混ざり合う。

客室



銭湯



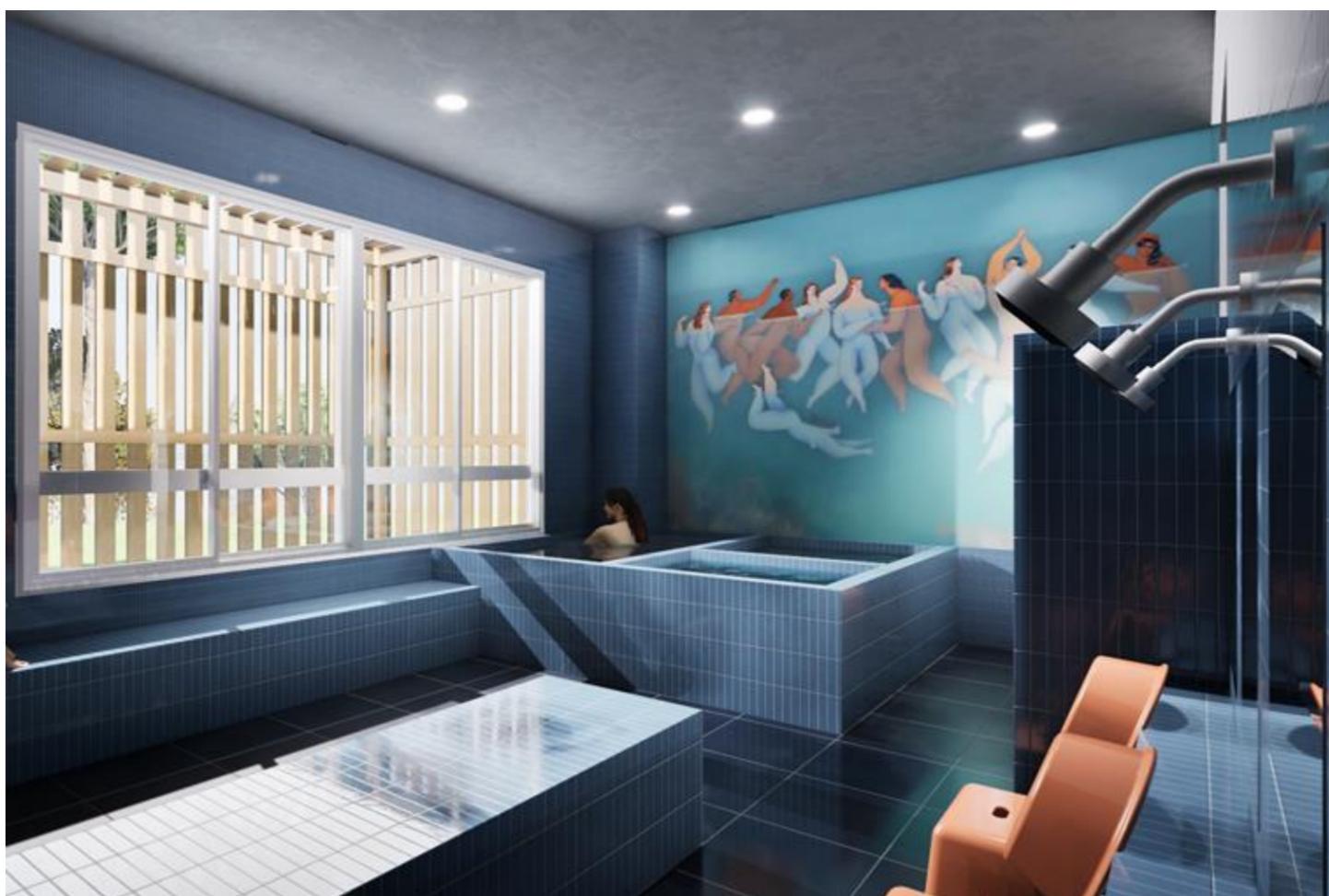
カフェ / グローサリー



施設イメージ

銭湯

伝銭湯は多様な人が分け隔て無く利用することができるコンテンツ。秋谷に住む人々にとっては日常の延長線上に通いたくなる場所に、観光客にとっては旅の目的地として目指したくなる場所に。すべての人にとってのサードプレイス。



カフェ/グロサリー

メインエントランスを兼ねるレストランは、秋谷のデリキッチン。カフェ内には日本全国からセレクトされた食材・飲み物が並ぶ。いろんな人がそれぞれの目的をもって過ごすことで、偶発的な交流の起点となる場所に。



施設イメージ

客室

海を一望できるロケーションを活かした全11室の客室。
秋谷の景色や風土を最大限に満喫できるレイアウトに、自然の美しさを際立たせたシンプルなデザイン。

老人福祉センターで使用されていた照明機器や仕上げのマテリアルを再利用し、施設内全体のインテリアに取り込むことで、ローカルに愛された老人福祉センターのアイコン的な意匠を引き継ぎ、新たな世代へと継承していく。



施設イメージ

公益施設（地域活動スペース）

地域の人のために開かれたこの施設は、秋谷のリビングルーム。
地元の人も観光客の人も集うことで生まれる活気を建物内で完結するのではなく、立石公園にまで広がっていく場所の中心に。
田舎のおばあちゃんの家のようにふらっと立ち寄れておしゃべりができ、秋谷ローカルの生活に溶け込む集いの場となる。

